

2026年6月25日

生産性向上のための基礎セミナー & 介護テクノロジー体験展示会

令和8年度 沖縄県

「働きやすい職場づくり業務改善研修プログラム」 及び「伴走支援プログラム」参加事業所の募集

介護業務・テクノロジー伴走支援センターおきなわ
代表機関 株式会社NTTデータ経営研究所
平良 未来

かいテク沖縄 働きやすい業務改善研修プログラム・伴走支援プログラムについて

A.働きやすい職場づくり業務改善研修プログラム

(募集：30事業所程度)

Day1

(7月27or28日)

「現場の課題の見える化をしよう」

ワークショップで事業所の課題とそのおおもとの原因を特定

Day2

(8月13or14日)

「実行計画を立てよう」

Day1の課題に即した“打ち手”を実行するための計画を作成。
課題解決に向けた無理のない 目標設定も専門家がフォロー

Day3

(12月14or15日)

「改善活動に取り組もう」

実行計画の振り返り、マニュアル・手順書・ルールづくりのポイントの検討

Day4

(2月17or18日)

「改善活動・実行計画を振り返ろう」

これまでの活動を成果発表形式で振り返り、今後の継続的な取り組みを検討

- ※ 各回約 2 ～ 3 時間程度。研修会場は那覇市内を予定
- ※ 全日程（4日間）の参加が必須条件
- ※ 各回（Day 1 ～ 4）2日間のいずれかの日に参加

B.伴走支援プログラム

(募集：4事業所)

研修プログラム + 専門家が事業所を
直接訪問して、業務改善活動をサポート！



主な支援内容

- 課題分析
- 業務改善活動の検討・実施
- 効果検証
- 成果報告



※「A.働きやすい職場づくり業務改善研修プログラム」の全日程の参加が条件

- **事業所が抱える課題を抽出し、緩やかな因果関係図の作成を行います。**
(生産性向上ガイドラインに記載の「緩やかな因果関係図の作成」の手法に則る)

■ 緩やかな因果関係図の作成の主な効果


- 事業所の課題を構造的に把握することができる。
- 実際の職員から挙げた気づきや課題といった、現場の言葉を踏まえて業務改善の目的や意義の理解を深めることができる。
- 緩やかな因果関係図の作成時に職員間で試行錯誤するため、職員間のコミュニケーションが活発になる。



- Day1で抽出した課題を基に、**業務改善活動計画書**の作成を行います。
- 具体的には、活動の方針と具体的な取組内容、KPI（成果を測定する指標）を決め、スケジュールを立てます。



最終更新日: 年 月 日
印刷日: 年 月 日



沖縄県
「働きやすい職場づくり業務改善研修プログラム」

業務改善活動 計画書

法人名	事業名
-----	-----

担当者	
部署	

Ⅰ介護テクノロジー導入・業務改善実施計画

Ⅰ. 本プロジェクトの目的・目的達成に向けての目標

Ⅱ. 改善活動の成果・課題の見える化に合わせた活動

Ⅲ. 導入予定のテクノロジー（※課題解決に活用するテクノロジー）

名称	製品名	台数(台)	合計価格	導入予定場所

Ⅳ. 本プロジェクトの進捗管理

進捗管理する文字 (※進捗管理の進捗状況から 把握できるように)	担当・所属部署	進捗管理の方法	実施期間
1			
2			
3			
4			
5			

Ⅴ. 本プロジェクト導入に際しての課題（※課題を解決するための対策）

課題の解決策 (※課題解決の進捗状況を把握できるように)	実施期間
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

※ 併せて「業務改善活動計画書」を作成してください。

- 前半の活動を振り返りながら、小さな成功事例の設計・共有、手順書・マニュアル作りを、各施設が自身で行えることを目標とする。
- 具体的には、導入計画書を基に、活動の進捗確認と中間振り返りを実施します。

振り返りのワーク

導入計画書（実行計画）

【手順1】改善活動の準備をしよう

プロジェクトチームの発足

プロジェクト上の課題

プロジェクトメンバー選出のポイント

- XXXX
- XXXX

頑張ったこと・苦労したこと・工夫・気づきなど

【手順1】改善活動の準備をしよう

プロジェクトミーティング

開催頻度

開催場所

キックオフ宣言

誰がいつどのように

写真

最初のミーティングやキックオフ宣言の様子がわかる写真があれば貼付してください。

頑張ったこと・苦労したこと・工夫・気づきなど

【手順2】現場の課題を見える化しよう

気づきカードの収集

気づきシート収集対象

主な内容

写真

収集した気づきシート、因果関係図の写真があれば貼付してください。

頑張ったこと・苦労したこと・工夫・気づきなど

【手順2】現場の課題を見える化しよう

課題解決の道筋

写真

課題解決の道筋がわかる写真があれば貼付してください。

頑張ったこと・苦労したこと・工夫・気づきなど

実施日	実施内容	進捗状況	担当者	備考
令和 年 月 日	1. 本プロジェクトの目的・目標を明確にする。			
令和 年 月 日	2. 現場の課題を明らかにする。			
令和 年 月 日	3. 導入する改善ツールの選定（設備導入する場合のみ実施）。			
令和 年 月 日	4. 改善活動を開始する。			
令和 年 月 日	5. 改善活動の進捗を確認する。			
令和 年 月 日	6. 改善活動の結果を報告する。			
令和 年 月 日	7. 改善活動の振り返りを行う。			

かいテク沖縄 令和7年度プログラム参加事業所の声

介護老人保健施設 シルバーケア悠悠 (宮古島市)

「とりあえず導入」ではなく、定着のための準備がカギ

- 夜勤職員の月平均歩数が約14,000歩に及び、**施設が広くて歩行距離が長いこと**、また体動によるセンサーコールへの**不要な訪室が多いこと**が課題でした。
- ◎ 見守りセンサーの導入にあたり、「機器を置いて終わり」にしないため、研修で策定した業務改善活動計画書やアドバイスをもとに、**デモ・他施設見学・配線やリスクの確認と徹底した準備**を重ね、一目で分かりやすい**マニュアルを整備**することができました。



BEFORE

AFTER

夜勤帯の1日平均訪室回数

3.4回 ▶ 2.8回

特別養護老人ホーム 八重山厚生園 (石垣市)

5S活動で「探す・迷う」をなくし、現場がスッキリ

- **書類や物品が散乱**し、職員の8割以上が「物を探すムダ」を実感していました。**役割分担の曖昧さ**に加え、申し送りノートの読みづらさによる**情報共有の「ムラ」**もあり、日常の非効率性が積み重なっていました。
- ◎ 研修では、**なぜなぜ分析による課題の見える化**に楽しみながら取り組み、学んだ**5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)**に関する知識をもとに、施設全体でデスク周りの整備や申し送りノートの改善、業務内の片付け時間の設定を実施しました。**ゴミ袋約20袋分の不要物を処分**することができ、職場環境が目に見えて改善しました。



BEFORE

AFTER



その他、県内介護事業所の取組事例をかいテク沖縄ホームページにて公開中！

かいテク沖縄のお申込み方法とスケジュール

応募資格と申込概要

応募資格	<ul style="list-style-type: none">介護保険法に基づく指定・許可を受けた、沖縄県内に所在する介護事業所
提出書類	<ul style="list-style-type: none">「働きやすい職場づくりに向けた業務改善研修プログラム」及び「伴走支援プログラム」に関する申請書（様式1）事業計画書（様式2）事業者概要が分かる資料（法人定款、建物平面図）
選定方法	<ul style="list-style-type: none">書面審査（参加体制・推進体制・課題の明確さ・普及発信意欲等）と地域バランスで総合判断
留意事項	<ul style="list-style-type: none">同一事業者・法人であっても、沖縄県内に複数の対象事業所を有する場合は、それぞれの事業所において申請が可能本プログラムへの参加により発生する費用（旅費・宿泊費、食費等）は事業所の自己負担

スケジュール

応募
～7/2（木）17時必着

選定通知
令和8年7月中旬

プログラム開始
Day1 : 7/27・28

かいテク沖縄 応募書類の提出先

- ・ 応募書類は7月2日(木)17時までにかいテク沖縄までメールにて御提出ください。

応募書類の提出先

介護業務・テクノロジー伴走支援センターおきなわ 伴走支援係
E-mail : okinawa-seisansei@nttdata-strategy.com

※メール件名は「プログラム申込」としてお申込みください。

※提出にあたっては、必ず募集要項を確認ください。

※応募書類様式・募集要項は、かいテク沖縄HPからダウンロードできます。

<https://okinawa-kaigocenter.com/info/12/>



応募書類様式・募集要項
かいテク沖縄HP

お問い合わせ先

介護業務・テクノロジー伴走支援センターおきなわ
〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-25-5 とまりん（アネックスビル）1階
TEL : 098-869-0855
E-mail : okinawa-support@kaigo-center.or.jp

